

# 令和元年度の議会報告会での要望のうち市議会で取り上げたものに対する回答

(要望等の一部を抜粋しています。)

NO	地区名	市議会で取り上げた要望	市執行部回答
1	向島	学校区の見直しができないか？	各学校の実態や、地域でのそれぞれの取組、児童・生徒の通学距離、登下校時の安全面を考慮すると現在の学校区の見直しは難しい。 本市は茜島シーサイドスクール事業や小規模特認校制度を設けるなど、子供たちの将来のために学校選択の幅を拡げている。 少子化に伴う様々な課題は、これから先も地域や学校と協議しながら真摯に考えていく。
2	松崎	競輪事業について、基金が8億6千万円もありながら市の一般会計に寄与されていないのなら、事業を廃止することも議会で検討して頂きたい。	防府をホームバンクとする有望な若手の活躍、東京オリンピックで競技として行われるなどの話題性を追い風と捉え、競輪事業の最大の責務である市財政への貢献を果たせるよう競輪の魅力の発信力を強化し、各地からファンを取り込み、市民の応援を得て競輪事業を活性化したい。*
3	新田	みまもり隊について、隊員の方は大変苦勞されながら頑張っておられる。 市の要綱にある「支給品」について、専用の帽子を加えて欲しい。	帽子については抑止力になるという面もあるので、みまもり隊の方の意見を聞き、他市の状況等も見ながら今後検討してまいります。*
4	佐波	団体に昨年まで支給されていた補助金がカットされた。その理由は？	補助金の効果的かつ適正な執行を図るため、毎年度、実績報告等に基づいて、活動内容を検証し、補助金交付の長期化、あるいは固定化によって、補助の目的が曖昧になっているもの、効果が薄くなっているものについては廃止に向けた検討を行っている。 廃止にあたっては団体に説明を行っている。
5	中関	他市の取組で、高齢者の方の、健康寿命を延ばすための補助制度を作るべきではないか。	県と連携し、人気の高い「やまぐち健幸アプリ」のより一層の利用促進を図っていきたい。

\*NO2については、令和2年度予算において、競輪事業から一般会計への1千万円の繰り入れが計上されました。

\*NO3については、令和2年度から、みまもり隊800名の方に対する帽子の支給が決まりました。